

平成 25 年度第 1 回診断評価等基準委員会 議事録

開催日時：平成 25 年 4 月 18 日（木）7:00—8:00

開催場所：ラグナガーデンホテル 平安の間

出席者：紺野 慎一（理事）、竹下 克志（委員長）、笠井 裕一、金森 昌彦、寒竹 司、清水 敬親、田中 信弘、種市 洋、橋爪 洋、細野 昇、松永 俊二、川上 守、高橋 和久、宮本 雅史、福井 充

欠席者：金山 雅弘、松本 守雄

議題

1. JOACMEQ、JOABPEQ 健常者調査について

JOACMEQ 健常者調査について（担当：田中委員）

田中委員より論文化の最終段階であることが報告された。

JOABPEQ 健常者調査について（担当：橋爪委員）

橋爪委員より残る数施設への問い合わせ中であることが報告された。

2. プロジェクト研究進行状況について

「腰椎変性すべり症に対する手術治療法の有用性に対する JOABPEQ を用いた多施設前向き研究」（担当：寒竹委員）

寒竹委員より画像評価法の詳細についての確認と、本プロジェクト進行状況の説明があった。

「腰椎変性側弯症の健康関連 QOL 低下に及ぼす X 線学的（脊柱変形）パラメータを検討する多施設横断研究」（担当：種市委員）

種市委員より計測の信頼性評価の研究の結果の報告があり、さらに本プロジェクト進行状況の説明があった。清水委員より変性側弯症の用語についての確認があった。

「術者によって頸椎症の手術成績（JOACMEQ）に差があるか」（担当：細野委員）

細野委員より症例収集中であることが報告された。

3. その他

JSSR2014

主題として、「患者立脚型アウトカム(JOACMEQ, JOABPEQ)を用いた

臨床研究」が挙げられており、当委員会から申請する研究として JOACMEQ 健常者調査、JOABPEQ 健常者調査、変性側弯症の多施設横断研究（おそらく第一報）、術者による JOACMEQ の差（中間報告か）が候補である。学術集会本部から委員会への応募の際に各担当委員に依頼することとした。

プロジェクト研究へのインセンティブ

適切なインセンティブの設定に難渋しているとのことであった。

JOABPEQ/JOACMEQ iPad アプリ（電通サドラー・アンド・ヘネシー社）について（宮本雅史アドバイザー）

宮本アドバイザーより背景の説明、続いて担当業者よりアプリ自体の導入法と運用法の説明があった。

1) スコアを比較する表における日付の呈示、2) VAS のバーの初期設定位置、3) データ自体のパスワード設定、についての追加依頼を行った。さらに、患者自身が過去に回答した内容の参照ができないか、の質問があった。ほとんどの質問票は参照不可能の設定がされているが、recall bias と並んで興味深い事項であり今後の研究の候補として検討することとした。

iPAD を有する委員はアプリを試用することで、疑問点や問題点があった場合には 5/6 までに竹下または紺野にメールすることとした。

4. 次回予定について

8 月の金曜日夜あるいは土曜日午後 1 時から東京駅あるいは品川周辺にて行うこととし、近日各委員の日程を確認することにした。